福祉公社通信

11 月号

令和元年 11 月8日 発行

第 80 号 月刊

福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。
誌名「羅針盤」は、ご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

はや 11 月となりました。
９月、10 月と引き続いて台風の甚大な被害に見舞われたとは実に思いもよらないことです。
被災地の方々に衷心よりお見舞い申し上げます。
凍雲佇む雪待月、皆様にはどうぞご体調に留意されお過ごしください。

＜紙面から＞

コミュニティカフェ 2019　・・・1ページ
認知症支援研修　成年後見相談会
百寿と 3 歳のお誕生会　・・・2ページ
社会活動センター前期講座発表会
福祉公社事業報告会　・・・3ページ
お知らせ　リレーコラム　・・・4ページ

高齢者総合センター　まちおこし・軒下フェスタと同時開催　コミュニティカフェ 2019

10 月 26 日、秋晴れに恵まれ開催しました。

福祉の活動団体等と高齢者総合センターが、地域福祉を広報し推進する恒例行事で、大野田・千川・中央・西久保各福祉の会と緑町きらきらプロジェクトと共催しました。本年もグリーンパーク商店会が主催する「軒下フェスタ」と同時開催し多くのご来場者で賑わいました。

オープンカフェ、参加団体のパネル展示、権利擁護センターの老いじたく相談、折り紙講座体験、被災地支援のラスク販売、パールブーケのパン販売、デイサービスによる昔遊び「松葉相撲」、車椅子体験等々、世代を問わず楽しみながら在宅福祉の推進を多くの人にご理解頂けるように、趣向を凝らしました。またボランティアの亀田義治税理士と井田亮一司法書士の相談ブースも開設しました。経験値を増やす貴重な機会になった、とのお二人のご感想です。

500 名以上のお客様がオープンカフェを訪れ、香り高いコーヒーを片手に、そこかしこで交流が生まれました。これをきっかけに福祉を担う人の輪が拡がるよう、高齢者総合センターはこれからも工夫を重ねてまいります。

当日は在宅介護・地域包括支援センターの主催で講演会も開催しました。

第 1 部は森安東光武蔵野市健康福祉部長による「“まちぐるみの支えあい”のさらなる推進に向けて」です。統計や資料を駆使しつつ、超高齢社会への市の取り組みが解説されました。「超高齢社会に備え、市が知恵を絞っていることが理解でき安心」との感想が多く寄せられました。第 2 部は吉祥寺南病院理学療法士・後藤隆太朗氏による「フレイルって何？～体も心も元気に生活するために～」です。最近しばしば耳にする“フレイル”の解説と予防のポイントが実演を交えて話されました。「健康が一番大切！」「今の状態を維持したい」など健康長寿に積極的に取り組む声が会場のそこここから聞かれました。

認知症支援研修　本部

～医療的・心理的・実践的アプローチから見る認知症～

人材育成センターは、市内や近隣の介護や障害者福祉サービスを担う事業所を対象に研修を実施しています。

今回は医療・心理・実践の三視点からの認知症支援研修を実施しました。第１回（10 月 17 日）は鈴木医院・木原幹洋医師による講義－認知症の疑似体験、脳の働き方について－がテーマで、認知症の方が「なぜそうなるのか」の理解を深める内容でした。

第２回（10 月 21 日）の担当は、多摩パブリック法律事務所の長谷川泰弁護士です。

法律家から見た心理的アプローチ、地域包括ケアにおける弁護士と他機関との連携、日常生活で本人がした契約に必要なフォローなどの講義でした。

次回は実践的アプロ―チについて、グループホーム「だんらん武蔵境」の高真由美施設長を講師に迎え、実施いたします。

なお、今年度の申込みは終了しました。

問合せ　人材育成センター　☎20－3741

本部

高齢者・障害者のための
成年後見相談会

権利擁護センターは、毎年、東京司法書士会、三鷹市社会福祉協議会と共催して、相談会を開催しています。

今年は 10 月 5 日、かたらいの道市民スペースで開かれました。成年後見制度や日常生活上の困りごとに関して、司法書士と社会福祉士が連携して相談に応じました。

当日は、朝から強い風が吹いていましたが、事前予約された市民がいらっしゃいました。50 分という限られた時間でしたが、「悩みを聞いてもらえてすっきりした」、「解決の糸口になった」など大変満足なさっていました。

この相談会に限らず、権利擁護センターは、随時、各種相談を承っています。多年に亘り蓄積した福祉実践に基づき、市民の皆様が住み慣れた地域で、いつまでも健康で、安心して暮らし続けられるよう、お手伝いいたします。また、弁護士による法律相談もあります。

お気軽にご相談ください。

＜法律相談＞

第２火曜日 13 時 30 分から（主に成年後見等の問題）

第４水曜日 13 時から１人１時間３人（法律相談一般）

問合せ・予約　権利擁護センター　☎23－1165

百寿と３歳！お誕生会　本部

先日、103 歳を迎えられた、ホームヘルプセンター武蔵野の男性ご利用者・Ｒ様のお誕生会に参加しました。外出が大好きなＲ様と一緒に吉祥寺のカフェで素敵な時間を過ごしました。

Ｒ様は「今が一番幸せです！」と涙を流してお喜びになり、その日の日記に「幸せなひと時。感謝」と綴りました。参加したスタッフも感動。また日々の業務の大きな励ましにもなりました。

今もお部屋に飾ってあるお誕生会の写真を眺めては、「楽しかったです。ありがとうございます」と仰るＲ様。次は「新年会しましょう」と目標を立て、楽しみにされています。

Ｒ様、もっともっと長生きなさり、素敵な笑顔をお見せください。有難うございました！！

本部

台風 19 号のさなか
ホームヘルプセンター武蔵野　出勤

台風 19 号が未曽有の水害をもたらした 10 月 12 日。豪雨と強風の中、２班に分かれ巡回ケアを実施しました。ご利用者の日常生活を支えることがセンターの使命です。

災害時のＢＣＰ（事業継続計画）の訓練にもなりました。貴重な経験を今後も活かし、ご利用者支援に尽力いたします。

ケアリンピック武蔵野 2019

11 月 23 日（土）に、武蔵野スイングホールで開催されます。福祉公社は演題発表に２部署、ポスターセッションに１部署参加します。

どうぞ、お越しください。

高齢者総合センター

社会活動センター 前期講座発表会

9 月 25 日に開催されました。フラダンス、ジャズダンス、みんなで歌うポップス、やさしいシャンソン、世界の歌、楽しく歌おう日本の歌、シアターソングの 7 講座が参加しました。

当日はお客様約 120 名にお越しいただきました。立ち見が出るほどの盛況でした。晴れの舞台に臨む、お洒落をした出演者の華やかなお姿に会場は花が咲いたようでした。皆様は半年間の受講の成果を溌溂と披露なさいました。「他のグループの発表を見られてよかった」「緊張したけれど出演して楽しかった！」「皆さんとっても素晴らしい、来年は参加できるようになりたいわ」などのご感想を伺いました。講座で繋がる仲間同士がエールや熱い声援を交し、ホットな時間を共有しました。

発表会のトリはジャズダンス講座。桑島講師の先導で客席も参加し、大いに盛り上がってお開きとなりました。研究によれば、「同居者以外の他者との交流が週 1 回以上ある高齢者は、月 1 回未満の高齢者よりも要介護状態や認知症になりにくい」とされています。健康長寿の手立てとして社会活動センターをこれからもご活用ください。

法人全体

令和元年度　福祉公社事業報告会

10 月 25 日に開催しました。全 10 部署が業務上の課題を把握し、解決手法を考え、実践に移す一連の過程を発表します。

これによりサービスの向上はもとより、職員の自己研鑽、相互啓発や連帯感強化などの効果も生まれます。

優秀賞はホームヘルプセンター武蔵野の「持ち上げない介護～ノーリフティングケアの実践～」、理事長賞は、高齢者総合センターデイサービス「嬉しくて今晩は眠れそうにないな～気分の波があり、いら立ちや怒りに結びつきやすい知的障害を持つ利用者への支援」、職員投票による特別賞は、総務課の「情報システム更新について～システム更新を働きやすい職場づくりに活かしたい～」でした。

人形劇で再現
リフト操作

専門職に扮して
MCS(メディカル・ケア・ステーション)
による情報共有の再現

各部署の発表タイトル

部署名	主題
地域包括ケア人材育成センター	若者プロジェクト
ケアプランセンター	MCS＊の活用により多職種連携を図る
在宅介護・地域包括支援センター	認知症になっても安心して住み続けられる環境づくり
管理・社会活動センター	安心して参加できる講座運営のために
北町高齢者センター	みずきっことの世代間交流
権利擁護センター	高齢になっても安心して人生を送れるように
総務課	情報システム更新について
住宅改修・福祉用具相談支援センター	言語聴覚士（ST）専門相談内容のまとめ
高齢者総合センターデイサービスセンター	嬉しくて今晩は眠れそうにないな
ホームヘルプセンター武蔵野	「持ち上げない介護」～ノーリフティングケアの実践～

＊MCS：医療現場で使用されている完全非公開型医療介護専用ソーシャル・ネットワーキング・システム

来賓の安藤真洋法人武蔵野理事長（福祉公社理事）からは「福祉公社の壁は厚い」との賛辞を頂き、浜崎宏弁護士（苦情解決第三者委員）は「弁護士会でも関心を持つ意思決定支援などの実践課程が良く理解できた」と講評されました。江幡評議員は、後日、地味な業務である総務が受賞したことに関して、「フロントである総務部門が高い評価を受けたことは公社全体のレベルが評価されたものだ。組織のダイナミズムの源泉であるフロントがしっかりしているからこそ、現場の活動が充実する」との感想をメールで寄せられました。

これからも、福祉公社は、職員一丸となって業務向上に努力いたします。

福 祉 公 社 か ら の お 知 ら せ

老いじたく講座　～老いじたくの基礎知識 ～
誰にでも訪れる老いに備え、元気なうちから準備して、尊厳ある老後生活を築きましょう。
日　時　11 月 26 日(火) 13 時 30 分から 15 時
場　所　福祉公社　1 階会議室

エンディングノート　書き方　講座
想いを記すことは残された人たちへの指針
日　時　12 月 13 日(金)13 時 30 分から 15 時
場　所　市民会館　第 2 学習室

問合せ　在宅サービス課　権利擁護センター
申　込　☎ 23-1165　参加費無料

ご寄付（遺贈）故服部ひろ子様　31,027,631 円
有難く拝受いたしました。故人はご夫妻で、昭和 61 年 11 月から、終生、福祉公社と共に過ごして来られ、公社を、ご夫妻の人生の支援者として高く評価してくださいました。合掌

高齢者総合センター特別短期講座
はじめての社交ダンス　～ステップを基本から～
令和 2 年 1 月 9 日～3 月 19 日の毎週木曜
問合せ　高齢者総合センター　☎　51-1975

職員リレーコラム

フィリピンの子ども支援サークル　　権利擁護センター　塩野谷　愛

私は大学在学中にフィリピンの子ども支援サークルに所属していました。その最大の事業が奨学金支援です。年間 100 万円を集め、現地の大学生約 40 名に奨学金として寄贈しています（フィリピンでは 3 万円で 1 年間大学に通学できます)。毎年 8 月にフィリピンを訪問し、奨学生や地域の小学生と交流しています。

今年は私もサークルＯＧとして参加しました。フィリピンの人たちは貧しい環境にありながら夢を大切にしています。日本の学生には夢がなく、私も在学時はそのうちの一人でした。今年の訪問では、私が当時交流していた現地の奨学生との再会を果たしました。彼らは「教師や OL として頑張っているよ」と笑顔で話してくれました。そしてまた再会を約束しました。海の向こうで、夢に向かって頑張っている学生や夢を叶えた卒業生たちに負けぬよう、私も頑張ろうと思える、そんな尊敬できる人たちの存在が、私を奮い立たせてくれています。　⇒　次回は　在宅介護・地域包括支援センター　室　由紀子

編集・発行　公益財団法人　武蔵野市福祉公社　　次号は令和元年 12 月 10 日発行予定です。

福祉公社 HP　http://www.fukushikosha.jp/
武蔵野市地域包括ケア人材育成センター
http://www.m-machigurumi.jp/
ホームヘルプセンター武蔵野
http://help-musashino.jp/

業務時間 8 時 30 分から 17 時 15 分（全て共通）

武蔵野市福祉公社　本部　東京都武蔵野市吉祥寺北町 1-9-1
（吉祥寺駅から徒歩十分またはバス停「武蔵野八幡宮」下車）

総務課	☎0422-23-1165
権利擁護センター・ケアプランセンター	☎0422-23-1165
ホームヘルプセンター武蔵野	☎0422-23-2611
地域包括ケア人材育成センター	☎0422-20-3741

武蔵野市立北町高齢者センター　東京都武蔵野市吉祥寺北町 4-1-16
（バス停「北町四丁目」から徒歩三分）

コミュニティケアサロン	☎0422-54-5300
子育てひろば・みずきっこ	☎0422-38-5150

武蔵野市立高齢者総合センター　東京都武蔵野市緑町 2-4-1
（バス停「武蔵野住宅」下車）

管理・社会活動センター	☎0422-51-1975
在宅介護・地域包括支援センター	☎0422-51-1974
住宅改修・福祉用具相談支援センター	☎0422-51-1974
デイサービスセンター	☎0422-51-2933